



ふれあい通信 青葉号



ごあいさつ

栃木県教育委員会事務局塩谷南那須教育事務所長 伊藤 由悟



「読書環境や人とのつながりを次の世代に確実に引き継いでいくことが重要と考え、これからの読書活動の道しるべとなる『人とまちを育む読書条例』の制定」

「店舗や喫茶店などの経営者一人ひとりが館長となり、おすすめの本を展示し、訪れた人に自由に読んでもらい本を通じた会話を楽しむ『まちじゅう図書館』の設置」「家庭での読書環境の継続と充実を図るため、乳幼児健診に参加したすべての親子に、絵本と絵本ガイドをプレゼントする『ブックスタートプラス事業』の推進」……。これらは、他県のあるA市でのユニークな取組のほんの一例です。住民、家庭、地域、学校及び自治体が一体となって読書に親しむ環境づくりに努め、人とまちを育む読書活動を推進しています。この読書をとおしたまちづくりにより、人と人のつながり、親子関係、市の取組への住民の参画など、人づくりや地域づくりにも効果を上げています。

読書に関する栃木県内の子どもたちの状況についてですが、読書量に関しては過年度と比較すると全体的に徐々に増えてはいますが、残念ながら1ヶ月にほとんど本を読まない子どもの割合（不読率）が、近年、高くなりつつあります。（本を読まない主な理由として、漫画・雑誌・ゲーム・メディア視聴に関心が高い、特に読みたい本がない、など。）

1か月にほとんど読書をしない児童生徒の割合(不読率)

年度	H29	H30	R1	目標値(R2)
小学生	4.2%	7.0%	7.4%	2%以下
中学生	11.9%	14.6%	16.1%	10%以下
高校生	44.1%	43.8%	50.0%	35%以下

栃木県では、「読書を通じて豊かな心を培い、未来に向かって広い視野を持った子どもを育む」ことを目標に、2019年度から2023年度までの5年間の「栃木県子どもの読書活動推進計画（第四期）」を策定し、一層の環境整備の推進を図っています。また、発達段階に応じて、あるいは家庭、地域、学校において取り組む様々な施策を展開しています。特に、取組として推進している「ブックスタート」「読み聞かせ」「家読（うちどく）」「ビブリアバトル」「読書コンシェルジュ」といったものは、親と子、子ども同士、さらには地域との「ふれあい」にもつながるものと感じています。

ロシアの劇作家チェーホフが「書物の新しいページを1ページ1ページ読むごとに、私はより豊かに、より強く、より高くなっていく」という言葉を残しているように、読書が私たちの人生にもたらしてくれるものは計り知れません。読書を「学問」として捉えることもありますが、特に若い世代には読書が「生活習慣の一部」となってほしいと思っています。幼児からお年寄りまで、いつでも、どこでも、気軽に親しめるもののひとつが読書だと思います。A市のように、読書をとおして世代を越えた人と人とのつながりや地域づくりにまで発展すると本当に素敵なことだと思います。

おわりに、当教育事務所ふれあい学習課の各種事業につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、予定していた事業を中止せざるをえない状況下ではありますが、地域とともにある学校づくり、地域づくり、人づくりのために、皆様方の支援や情報発信に力を尽くして参りたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。



令和2（2020）年度ふれあい学習課主催事業



No.	事業名	開催期日	会場	内容
1	家庭教育支援プログラム 指導者フォローアップ研修	9月8日（火）	塩谷庁舎	親学習プログラムを効果的に活用するため、プログラムの理解を深め、ファシリテーション技術の向上を目指す。
2	社会教育主事有資格者 ステップアップ研修 地区別地域連携教員研修	10月30日（金）	塩谷庁舎	社会教育主事及び有資格者と地域連携教員等の資質向上を目指す。
3	地域教育コーディネーター 養成研修	7月6日（月） 9月1日（火） 12月3日（木）	塩谷庁舎他	学校と地域をつなぐ地域教育コーディネーターの役割や学校支援を中心とした実務を学ぶ。
4	ふれあい学習ネットワーク	令和3年 2月2日（火）	さくら市 氏家公民館	家庭・学校・地域で子どもを育むふれあい学習の推進・啓発をねらいとした研修。

☆他教育事務所との共催

No.	事業名	開催期日	会場	内容
1	不登校児童生徒支援事業 県東地区 ふれあいキャンプ	10月21日（水） ～ 23日（金）	那須町 なす高原自然の家	不登校解消や社会参加に向けてのきっかけづくりとなるよう、交流活動や自然体験等の様々な体験活動を実施する。

※ 事業内容は、あくまでの予定ですので、変更になることがあります。

ふれあい学習課職員紹介

どうぞよろしくお願ひいたします。

副主幹

加々美 仁実

○担当：家庭教育・PTA支援
芸術・文化振興

所長補佐兼ふれあい学習課長

増淵 直嗣

○担当：課の総括業務



社会教育主事

中山 孝志

○担当：人権教育
地域学校協働活動推進

副主幹

大森 康之

○担当：ふれあい学習推進
青少年教育 生涯スポーツ

新型コロナウイルス感染症に関連して、感染した方やその家族・関係者、感染が拡大した地域から戻られた方、外国人の方、診療に携わった医療関係者等、新型コロナウイルスに立ち向かっている方たちに対する不当な差別、偏見、いじめ、SNSでの誹謗中傷等が、見聞きされています。

こんな時だからこそ、「人の温かさ」や「人とのつながり」を感じることができるふれあい学習を推進したいという強い思いがありますが、ソーシャルディスタンスの必要性から、事業を実施する難しさを感じています。

当課では、この状況下、以前のようにテーブルを囲んで和気あいあいと学ぶ活動ができずとも、これまで築いてきた様々な「つながり」を絶つことがないよう可能な限り事業を実施して参ります。御理解と御協力をくださいますようお願いいたします。